

令和 7 年度上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

- 日 時** 令和 7 年 8 月 26 日（火）午後 1 時 30 分から午後 3 時 40 分まで
- 場 所** 上市町役場 4 階大ホール
- 出席者** 井上委員、岡崎委員、小柴委員、瀬川委員、高島委員、中田委員、野越委員、平井委員、三輪委員、村上達委員、村上正委員、森委員、安井委員、山崎委員、湯上委員、横山正一委員、横山正行委員、吉田委員
- 欠席者** 田中委員、日野委員
- 事務局** 小竹副町長、牧田教育長、小池総務課長、松本企画課長、黒田財務課長、
轡田町民課長、黒田福祉課長、碓井産業課長、酒井建設課長、柳瀬会計管理者、
細川議会事務局長、廣田かみいち総合病院事務局長、平井教育委員会事務局長
【庶務】企画課企画班：青木課長代理、嘉藤課長代理、真貝主任
【委託先事業者】地域創生 Co デザイン研究所、NTT 西日本
- 傍聴者** 1 名（報道関係者）北日本新聞
- 次 第**
- 1 開会
 - 2 あいさつ（上市町長 中川 行孝）
 - 3 会長及び副会長の選任
 - 4 諮問
 - 5 審議
 - (1) 第 8 次上市町総合計画後期基本計画等の策定について
 - (2) 現行計画等（第 8 次上市町総合計画前期基本計画及び第 2 期総合戦略）の進捗状況について
 - (3) 現行計画等の事業の見直しについて
 - (4) 上市町 SDG s 推進事業について
 - (5) 新規計画等策定の進捗状況について
 - 6 その他
 - 7 閉会

事前配付資料

- ・委員（出席者）名簿 ・座席表
- ・資料 1 第 8 次上市町総合計画後期基本計画等の策定について
- ・資料 2 第 8 次上市町総合計画及び第 2 期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況報告書
- ・資料 3－1 現行計画等の事業の見直しについて
- ・資料 3－2（総合戦略修正ページ抜粋）
- ・資料 3－3（総合計画修正ページ抜粋）
- ・資料 4 上市町 SDG s 推進事業
- ・資料 5 上市町人口ビジョン改訂に関する考え方と改訂ポイントについて
- ・資料 6 まちづくりアンケートの分析結果サマリ

議事等

1 開会、あいさつ、会長及び副会長の選任

審議委員 18 名が出席した。司会者の企画課長が開会を宣言し、本年度の審議会委員の選定方法と委嘱状交付に関する説明を行った。なお、委員の紹介は所属団体の役員交代によって昨年度から変更のあった次の 5 名に省略した。

- ・ 上市町教育委員会 教育長職務代理者 高嶋 善与 委員（第 1 号委員）
- ・ 上市町農業委員会委員 村上 正毅 委員（第 1 号委員）
- ・ 上市町商工会女性部長 森 しのぶ 委員（第 2 号委員）
- ・ 富山県立上市高等学校長 安井 基一 委員（第 4 号委員）
- ・ 富山県知事政策局企画室長 成長戦略課長 横山 正行 委員（第 3 号委員）

町長があいさつを述べ、第 8 次総合計画の目指すべき姿を実現するために策定した前期基本計画と第 2 期総合戦略が計画期間満了を迎えることや、人口減や高度情報化、国際化の進展等の社会環境の変化を踏まえ、新たに後期基本計画と第 3 期総合戦略の策定が必要であることを説明し、審議委員へ忌憚りの無い意見を求めた。

司会者が、会長の選任について意見を募ったが特になかったため、昨年度に引き続き上市町公民館連絡協議会長の山崎委員を会長とする案を事務局が提案し、出席委員に了解を求め、了承された。

山崎会長は、上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会の設置及び運営に関する条例（平成 2 年 3 月 26 日条例第 2 号）第 5 条第 4 項に基づき、副会長に上市町区長協議会長の村上委員を指名し、同条例第 6 条第 1 項に基づき、議長となって議事を進行することとなった。

議事の前に、町長から山崎会長へ、第 8 次上市町総合計画後期基本計画及び第 3 期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について、審議会の意見を求める旨の諮問書が手渡された。

2 各審議事項について

議長は、審議事項毎に事務局に説明を求め、事務局は配付資料に基づき説明した。

議長は、各審議事項毎に質疑がないか委員に確認したところ、どの審議事項についても個別に意見等はなかったが、全審議事項の説明終了後に発言を求めたところ、各審議委員から次のとおり意見があった。

<質疑応答>

委員 上市の観光は同じことを繰り返しているのが現状かと思います。上市の魅力を考えると富山市に近いので町に企業があれば良いし、住みたいと思うようなまちづくりをしていかないといけないのではないかと思います。運送業をしており、今年若い子を 5 人採用し育てていこうと勉強してもらっていますが、喜んで来てもらえる会社、環境を作らないといけない。

2024年の労働基準の問題がありますが、人がいたら時間帯に合わせた賃金体系等の対策が取れますので、そういうことを考えてやっていかなければならないと思います。お金に余裕がないから子供はつくれないとか、家庭環境の中でうまくいかないという話があり、毎年給料を上げていますが、事業を作って、従業員というより人づくりをしないとここに集まってこないと思っています。

委員 町外在住者からみると、上市町はうらやましい所もあります。旧富山市では何もない所もありますが、上市では毎週のようにイベントを開催していて、街中に若い方のつながりを感じています。町外の方を含めたイベントもあり、町外の方にできるだけ参加してもらって町の魅力発信に繋げていかれたらよいと思っています。子育て支援については他の自治体から見ても厚い支援をしています。その点からも子育て世代の方々に話し合いなど色々なものでつながって、上市に住んでみようと思ってもらえるのがベストではないかと思いますが、そのためにはやはり、創業支援や企業誘致で働く環境を整備していただければ若い方々が住みやすい町になっていくのではないかと思います。

委員 先般、従業員に3人子供ができ、育児休暇を取ってもらいました。皆喜んでおり、もう1人という気持ちもあるということから、（制度を活用して）子どもを作って頑張ってもらいたいと思っています。

委員 町行政は色々な所で色々な取り組みをしておられます。行政だけではなく、事業者、一般の方々、皆協働してやっているところが上市町の素晴らしいところだと思っています。そういうところが他の市町村から非常にうらやましがられていますので、今後もますます官民に一緒になって取り組んでいけばいいと思います。上市高校と行政、事業所、企業が取り組んでいる職業を知る会、職場見学、キャリアバイトも、どんどん改良して進めていけばいいと思います。今年初めて、製造業が中心になって、中学生の子供たちにもものづくりを体験してもらう事業があり、夏休み中に父兄同伴で工場にも来ていただき、小学生たちが自分でも物を作ったりして、大変好評だったと聞いています。

一番心配なのが人口減。どこも同じ問題を抱えていると思いますが、他県で色々な事例の成功率が高い県の1位が鳥取、2位が青森、3位が福井県、富山県は24位だそうです。他県の取り組みで効果があるようなことを、県の行政と交流してですね、上市町もどんどんオンラインの出会いの場とか、新しい取り組みも考えていけば良いのではないかと感じました。ただ、移住者の方たちや県外から嫁いできている人達は、上市弁がなかなかむつかしくて方言が分からないのでコミュニケーションが取れないという声を若い方々から聞いていますので、方言教室みたいなことを楽しみながらやればよいかなと思います。

気候変動、環境問題ですね、これもSDGsを絡めて、もっと個人単位で取り組みを進めていくような仕組みづくりが重要な課題だと思っています。レジ袋は全国で富山県が自分のお買い物袋を持っていく事がトップだそうですので、町で何か全国一の取り組みがあれば、色々なところから町に関係・交流人口が増えて活性化に繋がるのかも知れません。ぜひ、温暖化を防ぐような取り組みも入れてもらえたら嬉しいです。

委員 町としては行事・イベントづくりや諸団体の活動が良くなるような支援をたくさんしていただいていると資料を見ても思っています。アンケート調査の分析もごもっともだと聞いておりました。アンケートにわざわざ答えてくださる方は課題感を持っている方も多いのですが、30代から50代の子育て世代の女性の回答が多かったのかなと記憶しています。その世代は、仕事・子育て・介護など1人で抱え込む傾向があって責任を強く感じやすい世代と思っています。男女共同参画でも、女性が県外・都市圏への転出が増加傾向だという現状を問題視し、県でも色々取り組んでおられます。若者が町外・県外に出て行ってしまう理由は一人一人違うし、移住・転入で補うという考えもあります。なかなか少子化で難しい現状があることも承知しています。審議会に来る前に、地域の皆さんに上市町の良い所を聞いたら、子供達がすごく伸び伸びしている、学ぶ環境も温かい雰囲気の子供達もすごく落ち着いて学習しているから良いという意見をよく耳にしました。また、子育て環境の充実に力を入れている、土地が安い、何もないけど実は病院やスーパーなど何でもあるという意見でした。ただ反対に閉塞感を抱えている、少し排他的なところがあるのではないかという意見も聞きました。富山や上市の良さを、子育て世代は忙しすぎて、子供達に魅力や良いところを親世代が本当はしっかり伝えなきゃいけないんですけど、自分たちが精いっぱい、子供達にちゃんと伝えることができていないのではという指摘もありました。また、大人が満足していないから伝えられていない、満足度を上げていくことが大切なのではという意見もありました。県ではジェンダーギャップを解消する、また、アンコンシャスバイアスいわゆる無意識の偏見を解消することが大切ではと取り組んでいて、町でも参画プランを昨年改定して盛り込んでいますので、皆さん当事者意識をもって色々な事に取り組んでいけたら良いのかなと思いながら話を聞いていました。中高生のアンケートはやはり娯楽がないとか居場所、自習室が少ないとか意見がありましたが、娯楽がないようなあるような、私もちょっとよくわからないんですけど、娯楽がたくさんあっても学生はお金がないので、正直なところ楽しめない。ただ、娯楽場所に行くにも親の送迎ありきなもので、公共交通など手段が充実したら子供達ももう少し留まるのかなと思いました。東京の方で、小学生向け児童館だけではなく中高生が気楽に過ごす場所が作られ、自学自習や自主トレができるような、中高生向けの児童館も必要なのかなと思いました。町の既存施設でも例えば机の配置や照明を変えたら使いやすくなるのではと思うところがあるので、利用者目線で改善していただけると利便性が高まり、活用率が向上するのかなと思います。当たり前と思っていることがそうではないかもしれないということを念頭に、大胆かつ丁寧に計画策定を進めて欲しいと思いました。

委員 たくさんの資料、医療福祉、防災、まちづくりなど色々な角度から取り組み、その成果も出てきています。町民の方々も取り組みを認めておられると同時に、他市町村同様に若者は都市圏に出ていく現象が現れており、町の特徴をどう打ち、子供達にどうとらえてもらうかが一番大事だと思います。

幼保小中高、各市町村取り組んでいますが、教育委員会や学校のトップが変わる毎に、また新たに一から出直しているのを、正直感じています。成果を残して積み上げていくステップが大切で、資料整理や引継を大切にしていきたいと思っています。例えば14歳の挑戦で地域にある企業とつながりもっと知ること。昨年あたり中学校に来ていただいて生徒の集中力がすごかったと聞いています。地元企業に足を運んでいただいて、丁寧に説明していただく。関心

は高い。上市高校でも昔からやっておられますが、実際同様にやられて素晴らしいと思います。ぜひ続けてもらい、中学校でも地域の鳥瞰的な縮図を日本全国ではなく、身近な事業・商店・町をまず捉え、各方面で子供達のために力を注いでもらっている事業を振り返り改善しながら、新たなものに挑戦していく覚悟があれば良いのかなと思います。

次に、中学も高校も敷居を高くしてはいけないと思います。安全面の課題もありますが、今どんな授業をしているのか、授業参観だけではなく気軽に授業を見に足を運ぶことができるようになれば良いのかなと。そうすれば、老若男女、むしろ近所の子供が一生懸命やっていることを知る一つのきっかけになるのかなと思います。

最後に、委員 20 人を 4~5 人グループにして、ここにいる方が 2~3 人程グループに入ってもらい、発表という嫌になるので発表はせずに付箋を貼って太平紙にまとめて順番に見ていくような、ワークショップみたいにして、色々な考えを知り、次回に提出してもらうようにすれば、効率も良いし色々な考えがたくさん出てくるし、意見も言いやすいと思います。

会長 今ほどのご提案、また検討していただけるとと思います。

委員 アンケート結果から、上市町は非常に自然環境に恵まれていると実感できる反面、若者や子育て世代からはエンタメ、娯楽が少なく日常での楽しみが限定されがちという声があるというところに、自然の強みと生活の利便性が対照的に存在していることをかなり感じました。自然が最大の資源である上市町において、逆に自然を活かした娯楽の創出が考えられます。外から持ち込む娯楽ではなく、自然を楽しむ文化や、人が集う仕組みを調整することは、次世代に選ばれるまちづくりにつながっていくのではないかと思います。

委員 町ではイベントを大分幅広く開催されるようになりました。今、委員がおっしゃいましたが、自然をどう上手に活かしたイベントを作っていくか、親子共々楽しめるかという観点からイベントを作られたら、県外から参加された方達にも上市って良い所だなと感じてもらえるイベントを作られたら、人口増につながるのではと思います。今、町から若者が消えていっているように感じますが、若者にこの町に移住してもらうことが人口や世帯数増になるので、最大の課題ではないかと思います。移住は古民家から増えていっている感じがしますが、古民家を、総合住宅（定住促進住宅）の中身をもう少し綺麗にさせていただいたらもう少し人が入りやすくなるのではと思います。知人が研修生で来た際何か月か居住したのですが、改善していただければもう少し若い方が入ってこられるように感じました。

委員 町内会のなり手がいない、なり手は 80 代前後で老々介護の問題もあります。世帯数 85 世帯程のうち、小学生、保育園児各 3 人で将来の担い手がいない状況です。近隣では町内会も合併しないと存続が困難ではという話があります。防災の強化と簡単に言われても、町内会の人口とやり方を考えていかないといけないのではないかと思います。防犯も同様です。どのようなやり方が良いかは分からないのですが、一緒に町を盛り上げたいと思いますので、その点一緒に考えていけたらと思います。

委員 町外在住ですが、上市町では色々面白い事業をしているし、特に中学生の自己有用感や、小中学生の地元への関心が高いのが良いなと思いましたが、それでも35年間で7千人人口が減るというデータは厳しいなと感じました。ただ、その中で縮充という考え方を出し、その中で豊かになることを上げられたのは非常に理にかなっていると思いましたので、今後も議論させていただければと思います。

委員 上市町では中学生の地域クラブを率先して実施していますが、部活動がなくなることがある程度決まり、地域クラブ以外のスポーツをやりたい子達の受け皿、公民館の関係や、さんさんのスポーツクラブもそうですし、そういうところの受け皿っていうことを、もう少し考えていただければと思います。まず町内の子供達、また町外の子供達も参加していただけるような、先程イベントの話題でも町外からの参加をとという意見がありましたが、町出身の選手などを集めていただいて、それには企業の皆さんにもご支援いただいて少し大きな形でできれば良いかなと思います。そのためには丸山の存在感や駐車場関係、駐車場アクセスの分かりにくさや狭さ、また、向かいのテニス場に渡る際に横断歩道がなくカーブもあり危ないため、子供達が安心して使えるように、また町外の人にも分かりやすい形にしてもらえたらと思います。

委員 子育てに関する仕事をしている中、人口ビジョンや出生数に正直ショックを受けています。特色ある保育所を目指していますが、将来的には小規模保育所になるのかと思いました。町が4月から第2子以降の保育料を無償化したことにより、隣町に家を建てようとしていた保護者が町に残ろうということになったので、今後も援助いただけたらと思っています。

委員 地域との関わりというところに重点を置いて、今年町の協力もいただき、1年生、2年生に授業時間にまちと関わる内容を盛り込む方向で進めています。地域が抱える課題などを、3年生の課題研究で、一人一人がテーマを持って1年間かけて研究するという授業があるため、今までは自分で興味関心を持ったものが中心だったのを、ここに少しでも課題地域との関わりといったテーマを持って、研究を続けて欲しいなと思っています。それがひいては、地域を愛する心を育み、進学後また地元に戻ってくるように繋がればいいなというふうに考えております。一方で、カリキュラムでやらなければいけないこともあり高校生も忙しく、何でもイベントを増やすことはできないため、スクラップアンドビルドで改善して、地域と関わるものを増やしていければと思っています。またこちらの方の会議で色々なヒントを見つけないかと思っていますので、よろしくお願いします。

委員 上市町は、たくさんのイベントを行っている町だと思います。微力ですが、商工会女性部も町が、盛り上がるように協力していきたいと思っています。

委員 色々思いはあるのですが、時間の都合もあり、要領良く提案できる形にまとまり切れていないため、発言は控えさせていただきます。

委員 担い手や学校給食という話をさせていただきたかったのですが、時間の関係もあり次回にしたいと思います。町の魅力は何だろうと思ひ知らされたことといひますか、農協の取引先が県外

の方が多いため、宿泊された際に案内をしたのが、大岩のそうめん、だんご、山菜と眼目山立山寺でした。後に聞いたところ、この2箇所にはプライベートで家族を連れて来られたとのこととして、何気なく案内したのですが、県外の方は魅力的に感じておられ、自慢できる所と感じました。

委員 森林組合は県内4つの組合がありますが、約3,300人の林業生産者がいても、若い人は林業に関する人が少なくなり、どこに自分の山があるかも分からなくなっている状態ですので、将来的には県下で1組合にという考え方で進めていけたらと思っています。町の面積は7〜8割が山林でして、将来を考えて進めていますが、個別に森林組合の話になるため、このような会議が開かれるのであれば新たに戦略会議を別途に開いていただき、それぞれの思いを会議で話しながら総合戦略会議を開いていただければと思います。

副会長 委員皆さん立場が違うので十人十色の意見が出て時間がかかる。今日の会議の目的は何か。町が作ったものを示して、これで進めるのでお願いしますという会議なのでしょうか。それとも皆さん色々な分野で意見を言われましたが、色々な課題に関してグループで討論してどうするという方向にもっていくのか、どちらの会議かが分かりません。町が示したものを揉んで改善して欲しいという会議という進め方もあるだろうし、作ったものをある程度承認して欲しいという内容であれば粛々と進めれば良いし、個別に意見聞く方法もあるだろうし聞かなくても良いと思うのです。会議の趣旨というか目的はどちらですか。

事務局 本日の会議は、まず昨年の事業実績についてご報告し、改善点などご意見があれば伺うこと、これは例年どおりの流れで報告させていただいたところです。そして、来年度からの新しい計画についての進め方と人口ビジョンの見込みの報告をさせていただきましたが、次回の審議会となりますが骨子案をお示ししたい考えであり、それを作成するにあたり、昨年度実施しましたアンケートやワークショップの結果をご報告しましたが、当然それらを踏まえつつ、委員の皆様から何かご意見があれば伺いたい考えでした。それらを含めてまとめた骨子案と人口ビジョン改定案を次回お示しして、その内容について改めてご意見を伺う予定としておりました。

副会長 皆さんの意見を何らかの形で盛り込み第2回目を開きたいということでしょうか。

事務局 その内容で盛り込めるところがあればとか、注意点があればそこを踏まえて、新たに骨子案と、人口ビジョンの改定案を作成したいと考えております。

副会長 色々なやり方があるので、戦略を向上するために書き換えるのも一方法かと思います。私も資料でたくさん聞きたいこともあったのですが、聞く時間もないので、委員の意見を全体に反映したいのであれば、そのような形で進めるよう強く前もって共有していただいた方が皆さん意見を言いやすいし、分野毎に意見する（ことを選べる）。大事な問題なのに農業は一つも意見がなかった、農業者の年齢が上がって誰もやる者がいないという現実に至っている

のに農業の話が全く出ていないことが非常に残念でした。時間がなかったので、その辺も含めて、ある程度分野を分かれて話すことも一方法かと思いました。

事務局 本日盛りだくさんで、時間がない中で色々ご意見をいただいております。ありがとうございます。まとめにくいというご意見もいただきましたので、発言できなかったご意見やお気づきの点があれば、審議会終了後にもメールやFAXでお知らせいただければと思います。

会議終了の予定時間となったため、議長は意見徴収を終了とし、発言できなかった意見については事務局の企画課へ提出するよう委員へ求めた。議長は活発な審議と円滑な議事進行への協力について委員へ感謝の言葉を述べ、議事を終了し、進行を司会へ戻した。

6 その他、閉会

事務局は、次回の審議会を10月10日に予定していることをお知らせし、日程調整への配慮をお願いした。

司会者は、以上をもって次第を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。